

専門分科会(8月24日開催)における意見に対する市の考え方

No.	項目	委員意見	市の考え方
1	議事1 進捗状況	進捗管理シートNo.7に、令和4年度からスタートした「こころサポーター養成講座」に関する内容を加えてほしい。	御意見を踏まえ、別添の下線部分のとおり進捗管理シートを更新しています。
2	議事3 重層事業	高齢福祉室・障がい福祉室などの関係する室課とどこまで足並みを揃えられるのかがかなり肝になると思うので、その辺りを目に見える形でお示しいただきたい。事務局説明の内容だと現状とそんなに変わらないように聞こえる。	重層的支援体制整備事業実施計画を策定する予定にしており、吹田市版の事業内容について福祉総務室だけで検討するのではなく、高齢福祉室・障がい福祉室をはじめとする検討会議の構成室課の意見を反映し、ともに作り上げることで、事業実施に向けて足並みを揃えられると考えています。
3	議事4 イベント	地域福祉市民フォーラムについて、次年度以降、開催回数を増やすことはできないか。	今年度は1回のみで開催になりますが、同時にオンラインでも参加できるようにしたり、開催後に市公式YouTubeで公開するなど、会場に集まらなくても参加していただけるようにしたいと考えています。来年度以降の開催方法については、今後、検討を進めます。

「第4次吹田市地域福祉計画」進捗管理シート

No.7

基本目標2：総合的支援のネットワークの構築

施策の方向1：権利擁護の推進

具体的施策	1.高齢者や障がい者（児）等への理解の促進
	2.成年後見制度の利用促進（吹田市成年後見制度利用促進計画）【重点施策】

【所管】 障がい福祉室

1 評価指標

指標	実績値					目標値
	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2026年度 (令和8年度)
障がい者週間記念事業の啓発行事への参加者数	974人	806人	320人	320人	1,024人	1,200人

2 取組の進捗状況

令和4年度末までの取組状況 (進捗、成果、課題等)	<p>○10月12日、障がいの「社会モデル」とユニバーサルデザインのまちづくりをテーマとしたシンポジウムを開催し、動画を収録（コロナウイルス感染防止の観点から無観客）。収録した動画を11月29日から1か月間配信。320人のYouTubeアクセス数があった。</p> <p>○オンラインの集いとして、7事業所が活動紹介として収録した動画を11月29日から1か月間配信。480人のYouTubeアクセス数があった。</p> <p>○11月29日から4日間、市役所正面玄関ロビーにおいて、活動の場の紹介として、7事業所の活動状況が分かるものを展示。事業所からは224人が参加した。また、令和4年度から、メンタルヘルスの問題を抱える家族や同僚など身近な人に対して、傾聴などによる予防や早期介入できる支援者を養成するため、こころサポーター養成講座を開催し、620人が受講した。</p>
令和5年度以降の取組予定	<p>○令和5年5月にコロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴い、啓発行事の制限が緩和される見込であるため、委託している吹田市障がい者週間記念事業実行委員会と連携し、より多くの集客が見込める啓発行事の実施について検討する。</p> <p>○また、学生ボランティアの参加を呼びかける等、より多くの方々に障がい者週間記念事業の啓発行事に参加してもらうことで、障がい者の活動の啓発を活性化させていく。</p> <p>○令和6年度以降は、障がい者当事者や関係者だけでなく、色々な方々に障がい者に関する取組を知ってもらえるように、関係室課と連携し、合同して啓発行事を行う企画を検討する。</p> <p>○こころサポーター養成講座については、令和5年度以降も継続して開催し、多くの方が受講することにより、精神疾患への偏見や差別を解消し、地域で安心して暮らせる社会の実現につなげていく。</p>

3 評価

【評価】欄について

- A：目標達成に向けた取組は、順調に進んでいる B：目標達成に向けた取組は、概ね進んでいる
C：目標達成に向けた取組があまり進んでいない D：目標達成に向けた取組がほとんど進んでいない、または未着手

年度	2022年度 (令和4年度)	評価の理由等
評価	B	コロナ禍においても、動画配信等、可能な限りの啓発活動ができたことに伴い、昨年度よりも参加者数は多くなった。